

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】  
HIV 検査受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究  
(分担)研究報告書

## 性産業に従事する事業者と女性従業者の実態調査と受検勧奨

研究分担者：渡會 睦子 東京医療保健大学 医療保健学部

研究協力者：あや乃(日本風俗女子サポート協会代表)

生島嗣(ふれいす東京 代表)

カエバタ亜矢(新宿区保健所 保健予防課長)

堅多 敦子(東京都福祉保健局)

土屋菜歩(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

今村 顕史(東京都立駒込病院)

### 研究要旨

本研究では、性産業に従事する女性 384 名の実態調査を行った。対象者の背景としては 57.1%が CSW 以外の仕事を持っており、パート等 21.4%、主婦 12.2%であった。性的サービスの実際には、コンドームなしでの膣性交 2.6%・肛門性交 2.3%・フェラチオ 88.3%等経験しており、性感染症の危険性が危惧された。性感染症知識を半数以上が要望しているが知識を得る機会がないことが明確となり、今後の性感染症知識普及・受検勧奨のための研修会開催等の必要性が示唆される結果となった。

### A.研究目的

日本における新規 HIV 感染者の中で、女性の占める割合は現在でも決して大きくはない。しかし、近年起こっている梅毒の流行では、20 歳代を中心とした女性の増加が問題となっており、HIV と同じ性感染症の急増するハイリスク層が、今でも女性の中に潜在的に存在していることを改めて示している。

現在、女性が従事する性産業は SNS 等の普及とともに多様化しており、複数の形態の店舗に従事する女性、他職をもちながら性産業と関わる女性、あるいはアルバイトとして性産業に関わる学生や主婦など、従来の受検勧奨の届かない対象者が増加している。したがって、現代の性産業における実態調査を行い、今の時代に合った受検勧奨と予防啓発法を構築する。

### B.研究方法

#### 1. 性産業に従事する CSW へのアンケート・インタビュー

対象 研究協力者が行った業務手技の講習会を受講した者、他研修会に参加してい

る者、CSW である協力者より依頼があった者等

回収 約 384 名

アンケート内容：

背景；年齢・CSW 経験年数性産業の種類・実施サービス内容・客の年齢層客人数

性知識；性感染症知識・罹患歴・予防意識・予防行動

性意識；性産業・性サービスに対する入職動機・継続意識・引退意識・転職希望(有無・時期)

転職に向けた支援への希望(有無・時期)

性感染症検査；検査実施状況・検査の希望

研修；研修実施状況・予防研修実施の希望

#### 2. 法律専門家による性産業にかかる法律の収集

1 年目) 性産業・性風俗・CSW

(Commercial Sex Worker：金銭の授受を伴う性行動を職業として行う者)に関する法律・条令のまとめ

2 年目) 国際比較をおこなう。

これらを元に、法律上許可されている行為と性感染症が感染する行為とを比較し、現代

の性産業に関する法律で許される行為と性感染症予防があっているのかを検討した。

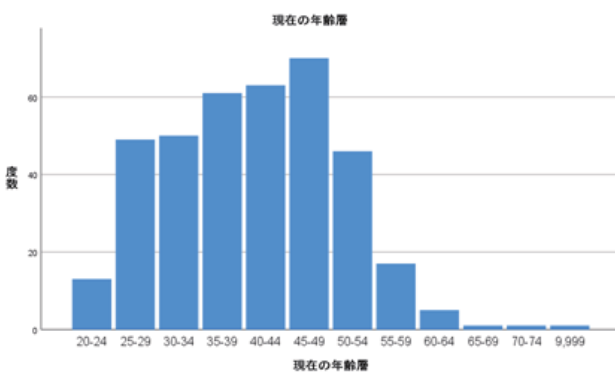
(倫理面への配慮)

調査した結果は、すべての方の結果を統計上まとめた上で、学会・専門誌等での発表とし無記名、記載拒否可能、個人や勤務先の特定はなく、記載後封筒に入れ研究協力者へ提出とし、勤務店側のも個人を特定できない方法をとった。本研究は当大学ヒトに関する研究倫理委員会にて承認を得た。開示すべき COI 関係にある企業などはない。

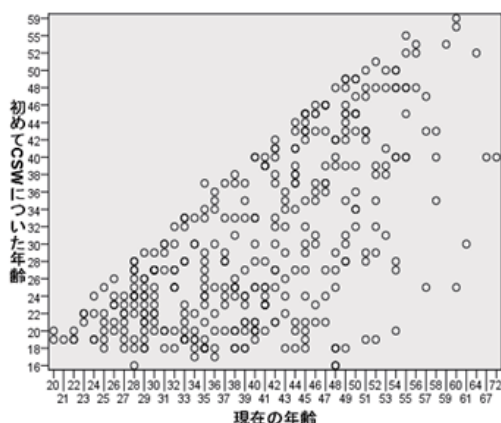
C.研究結果

1. CSW の現在の年齢と始めた年齢

平均は 40.45 歳 ( $40.45 \pm 9.615$ ) であり、20-72 歳までの回答があった。初めて CSW になった年齢は、平均 30.24 歳 ( $30.24 \pm 10.1$ ) であり、16-59 歳の幅があった。



CSWの現在の年齢と始めた年齢

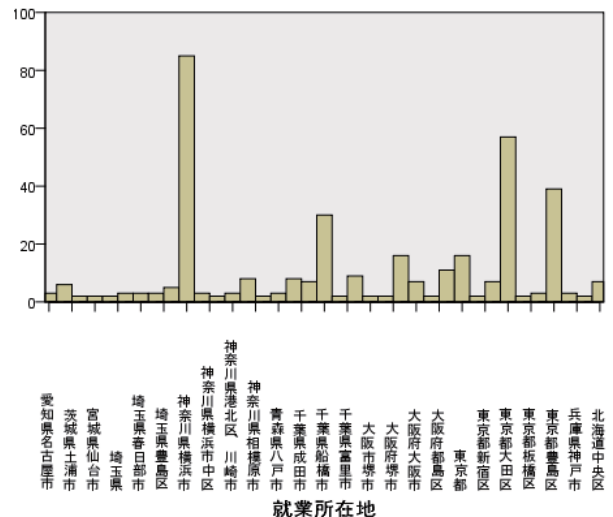


2. 従事年数

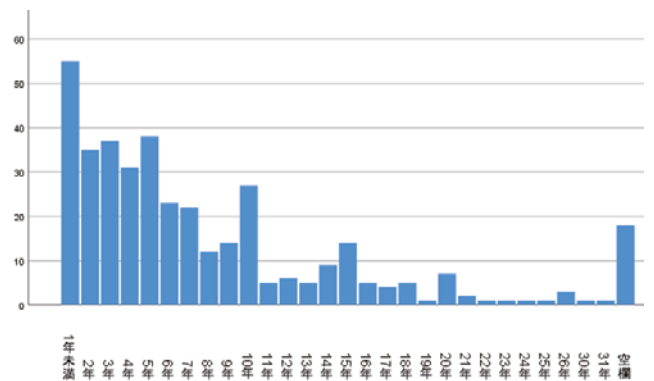
従事年数は、平均 6.7 年 ( $6.7 \pm 5.9$ )、半年～30 年の幅があった。

3. 従事都道府県

アンケートは、研究協力者が CSW の業務に関わる研修会を開いている会場での調査が多かったため、偏りがある状態である。

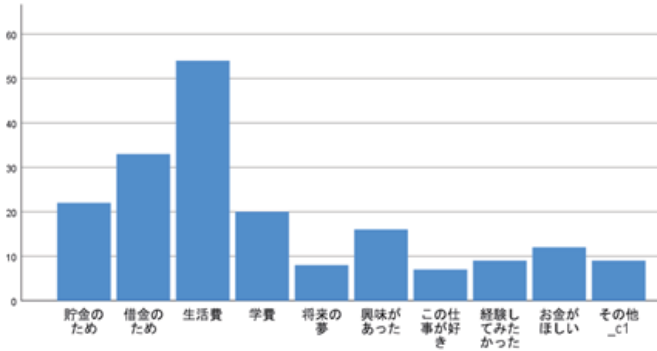


就業所在地



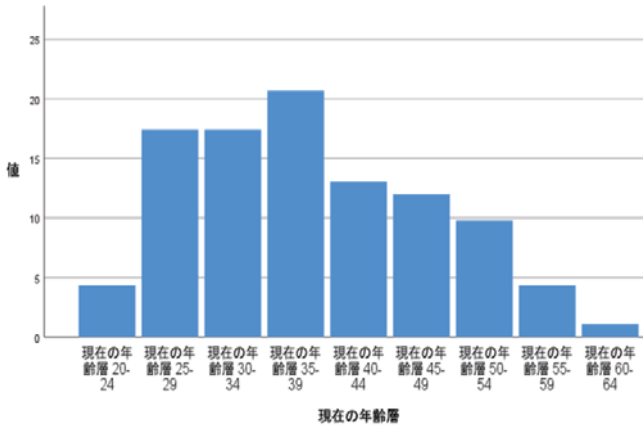
4. CSW の仕事をしようと思った動機

CSW の仕事をしようと思った動機では、生活費の 55.5% が最も多く、借金 28.9%・貯金 24.0% のためが続いた。

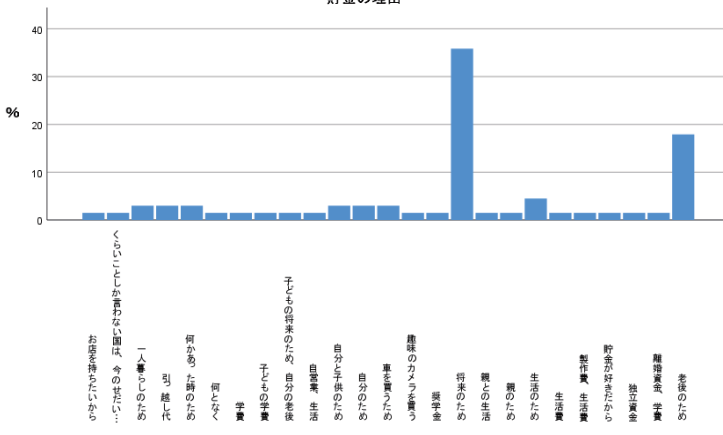


5. 貯金のためと回答した者の年齢分布と理由  
 貯金のためと回答した者は 35-39 歳が最も高く、将来のために貯金していると答えるものが多かった。

クロス表  
貯金のためはい総和の%

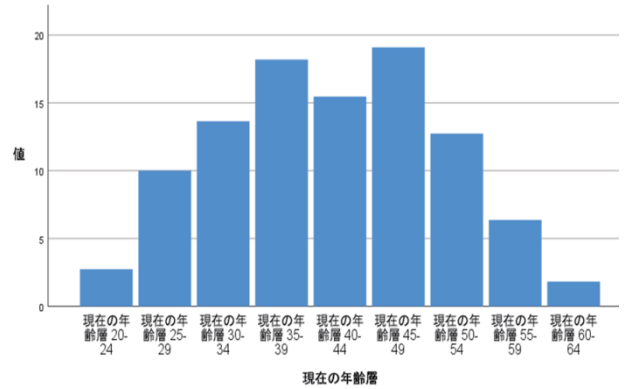


貯金の理由



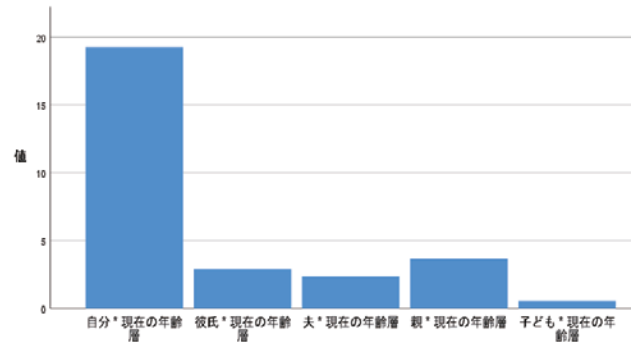
6. 借金のためと回答した者の年齢分布  
 借金は 45-49 歳が最も高く、借金は自分の借金がかった。

クロス表  
借金のためはい総和の%



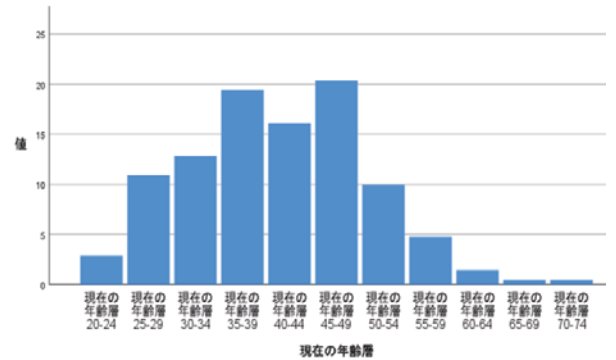
借金の理由 (誰のための借金か)

処理したケースの要約  
ケース有効数パーセント

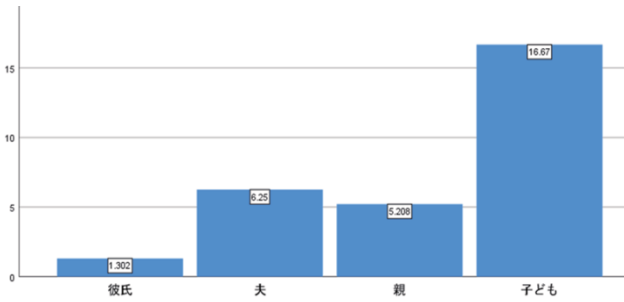


7. 生活費のためと回答した者の年齢分布  
 生活費は 45-49 歳が多く、子どもの生活費が多かった。

クロス表  
生活費はい総和の%



誰にかかる生活費か

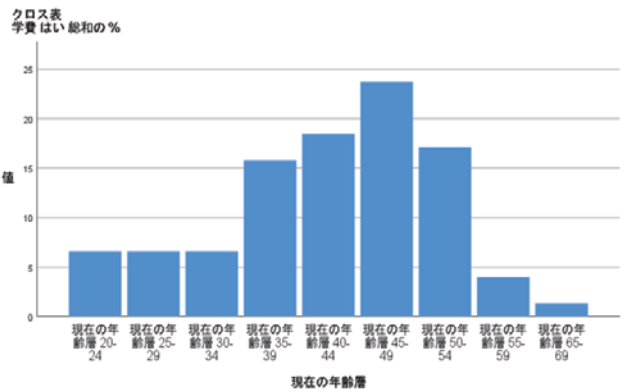


将来の夢の内容

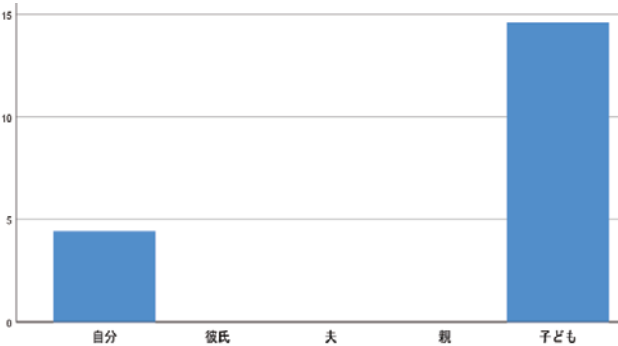
- ・ アロマやエステなど癒す仕事
- ・ お家、お店を持ちたい 2件
- ・ ネイルサロンオープン
- ・ 介護事業所を開業してみたい
- ・ 新しい事業の開業資金
- ・ 独立
- ・ パソコン関係の仕事
- ・ マッサージの資格を取りたい
- ・ 美容師
- ・ 資格取得
- ・ 外国に行ってみたい
- ・ 留学
- ・ 犬、猫の保護施設・犬、猫を救う活動をしたい 2件
- ・ 風俗をされている女性のカウンセリング
- ・ 漫画家
- ・ 離婚

8. 学費のためと回答した者の年齢分布

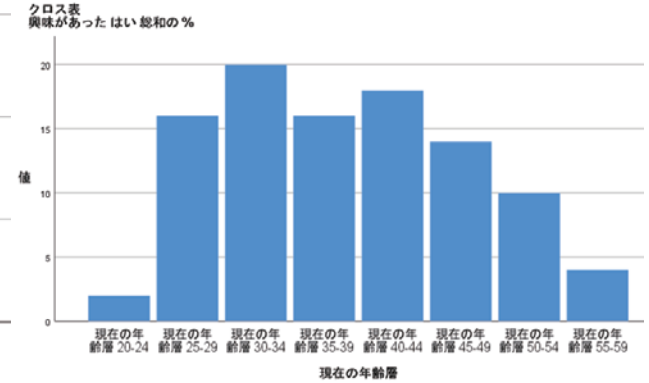
学費も子どもが最も高かった。



誰のための学費か

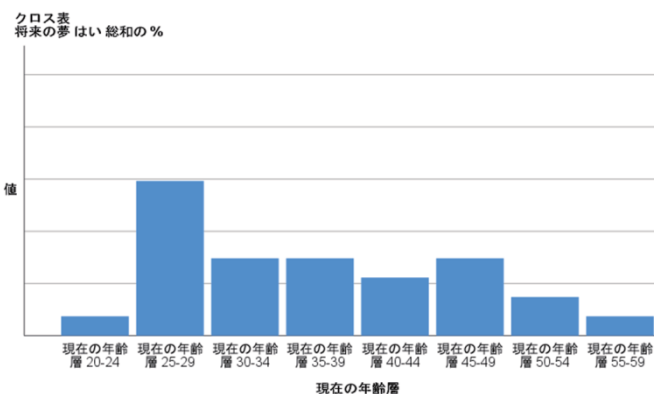


10. 興味があったからと回答した者の年齢分布

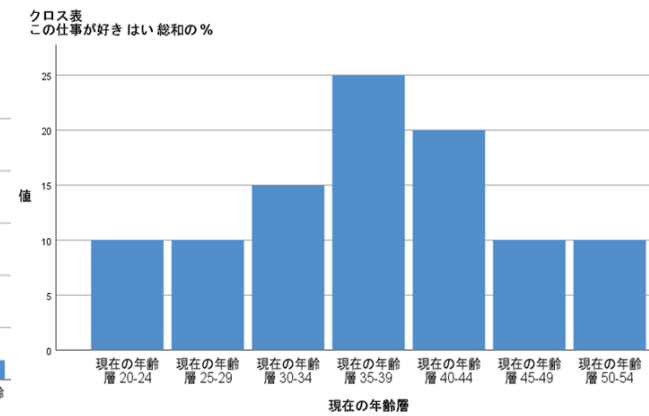


9. 将来の夢のためと回答した者の年齢分布

将来の夢のために働いているものは 25-29 歳が高く、将来の夢の内容は下記のものが挙げられた。



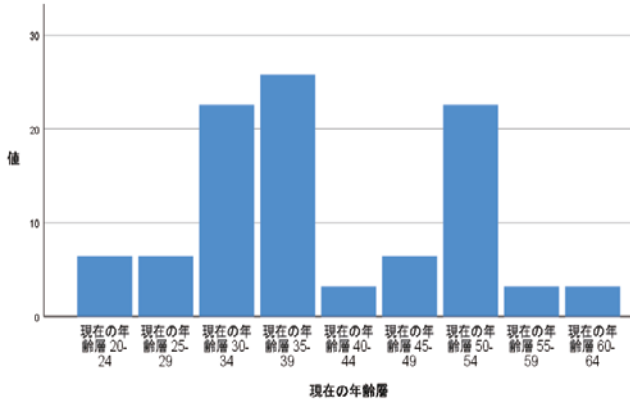
11. この仕事が好きだからと回答した者の年齢分布



12. 経験してみたかったと回答した者の年齢分

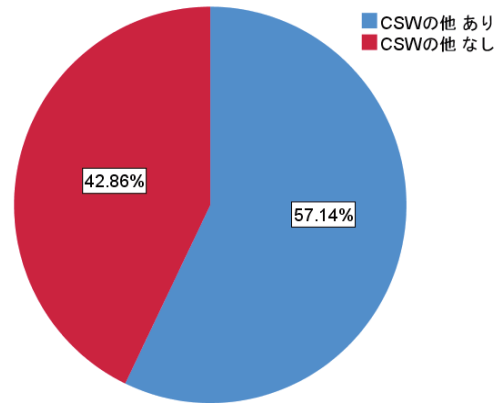
布

クロス表  
経験してみたかったはい総和の%



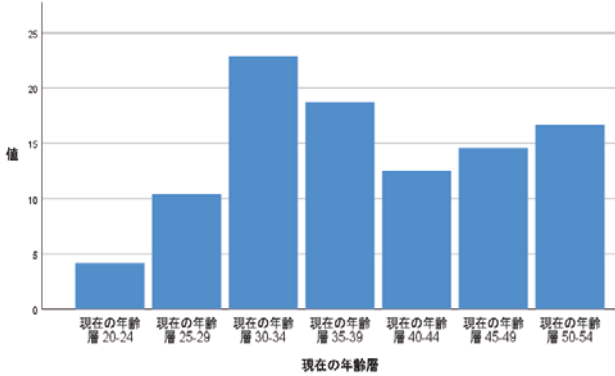
15. CSW 以外に他の職業についているか

57.14%は仕事を持っており、パート・アルバイト 21.4%に次ぐものは主婦 12.2%、常勤雇用 8.6%であった。

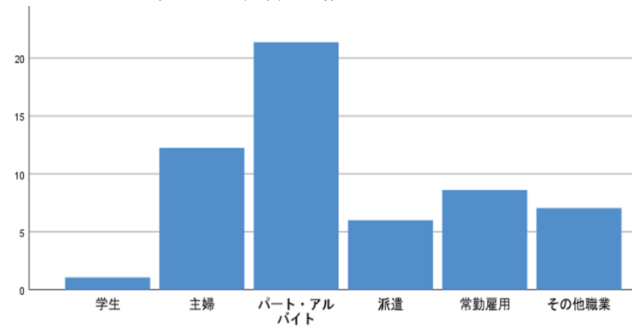


13. お金が欲しいからと回答した者の年齢分布

クロス表  
お金がほしいはい総和の%

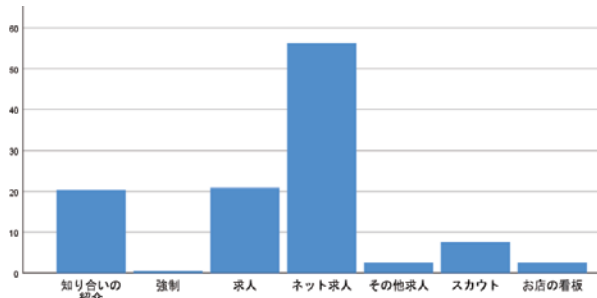


CSW 以外の職業内訳

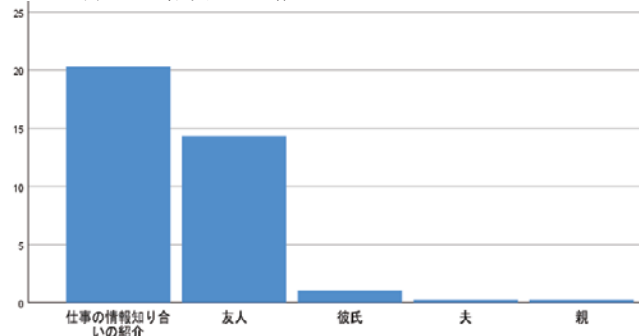


14. CSW の仕事の情報はどこから得たか

CSW の仕事の情報は、ネット求人自分で探していた。

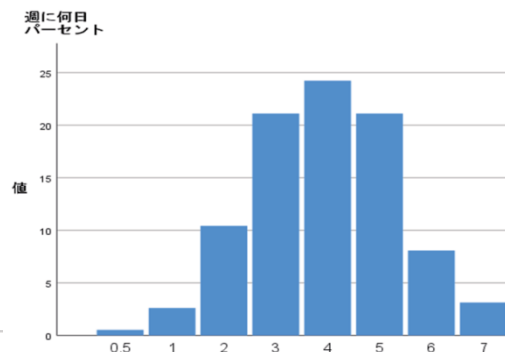


知り合いの紹介の内訳



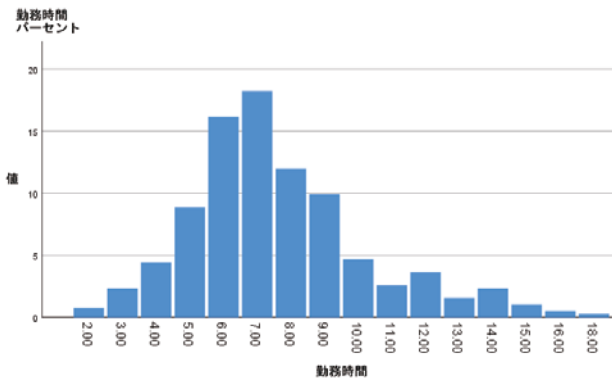
16. 労働日数（週に平均何日くらい働いているか）

労働日数は平均 3.9 日(3.9±1.4)、0.5-7 日間であった。



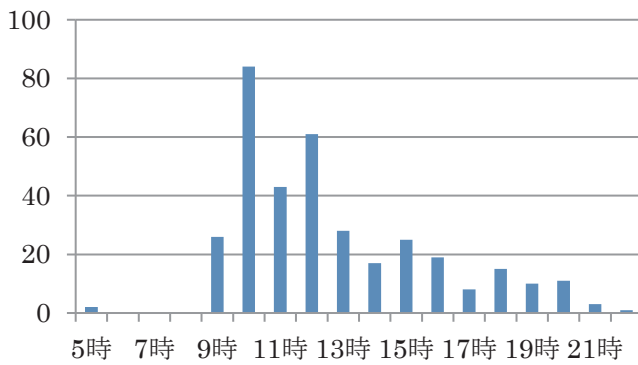
17. 労働時間（1日の勤務時間）

勤務時間は平均 7.6 時間(7.6±2.7)、5-22 時間であった。



18. 勤務開始時間

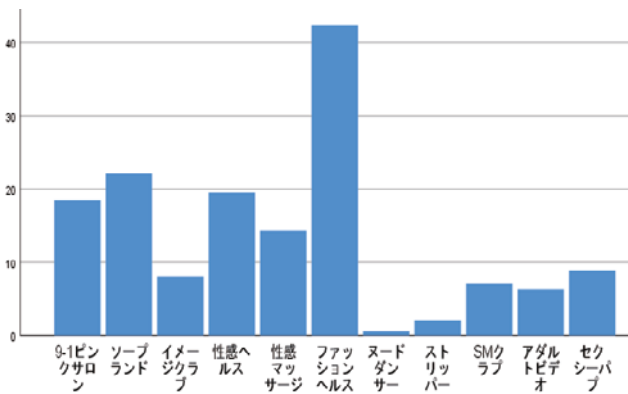
勤務開始時間は平均は 13 時であるが、朝 5 時や明け方と答える者から 22 時からという者もいた。



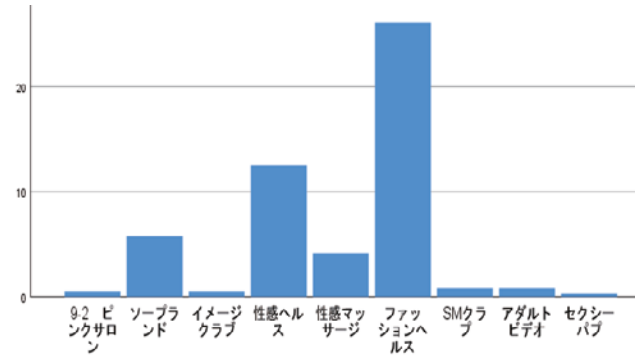
19. 仕事の種類

仕事形態は現在過去ともにファッションヘルスが多かった。

(今までにしたことがある業種)



仕事の種類（現在の業種）

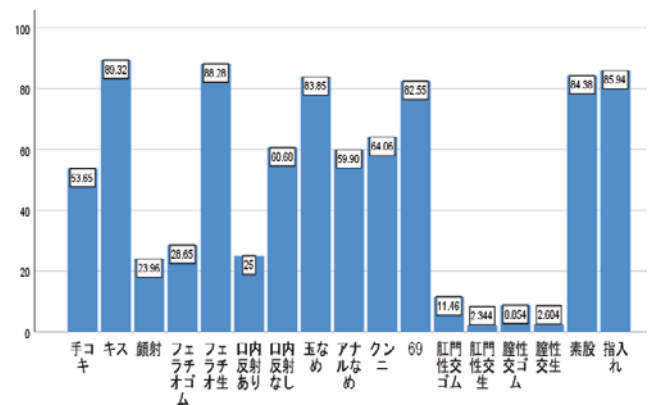


過去と現在の業種

	ピンクサロン	ソープランド	イメージクラブ	性感ヘルス	性感マッサージ	ファッションヘルス	ストリップ	SMクラブ	アダルトビデオ	セクシーパブ
9-2ピンクサロン	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ソープランド	2 0.5%	20 5.2%	3 0.8%	6 1.6%	6 1.6%	10 2.6%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	5 1.3%
イメージクラブ	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性感ヘルス	8 2.1%	12 3.1%	8 2.1%	37 9.6%	12 3.1%	19 4.9%	3 0.8%	7 1.8%	4 1.0%	2 0.5%
性感マッサージ	0 0.0%	4 1.0%	0 0.0%	8 2.1%	13 3.4%	4 1.0%	0 0.0%	2 0.5%	1 0.3%	1 0.3%
ファッションヘルス	15 3.9%	16 4.2%	4 1.0%	7 1.8%	10 2.6%	82 21.4%	0 0.0%	4 1.0%	6 1.6%	6 1.6%
SMクラブ	2 0.5%	3 0.8%	1 0.3%	1 0.3%	3 0.8%	2 0.5%	0 0.0%	3 0.8%	0 0.0%	1 0.3%
アダルトビデオ	1 0.3%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	1 0.3%	3 0.8%	0 0.0%
セクシーパブ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.3%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%

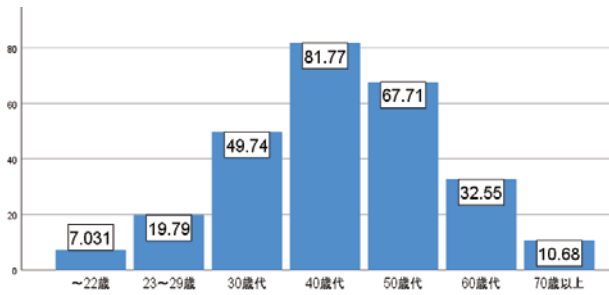
20. 性的な実施サービス内容

コンドームなしでの膣性交 2.6%・肛門性交 2.3%・フェラチオ 88.3%・口腔内への射精 25.0%、素股 84.4%等の行為を経験している。



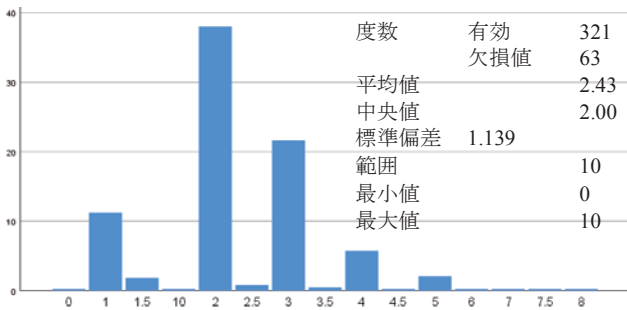
21. 客の年齢層

客の年齢層は 81.77%の CSW が 40 歳代を接客している。



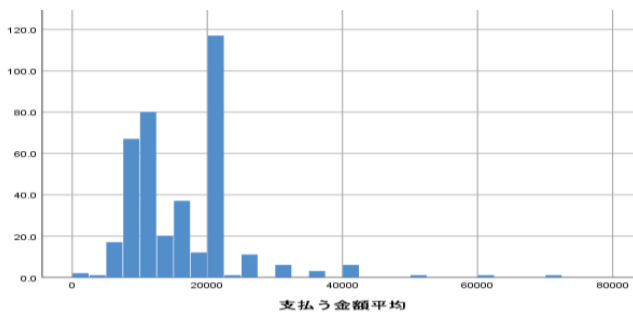
22. 1日に対応する客の人数

1日では約 2.43 人を接客している。



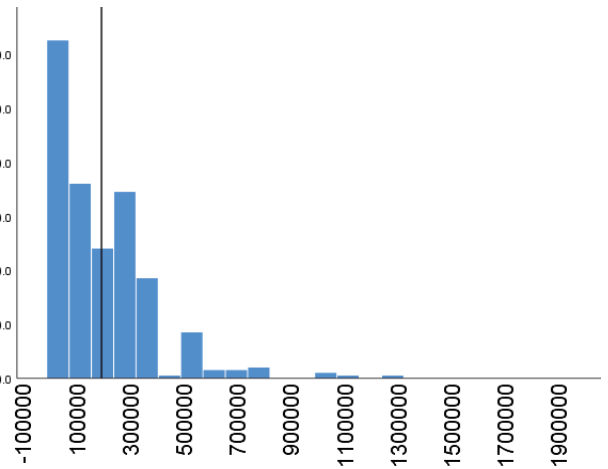
23. 客が支払う金額の平均

客が支払う金額の平均は、15,651 円であった。



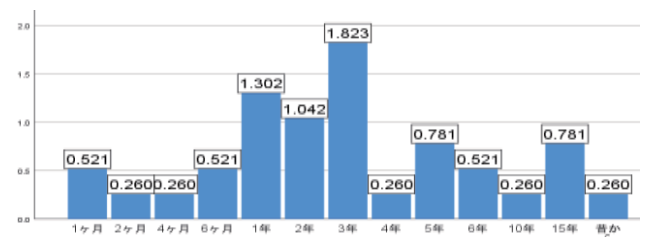
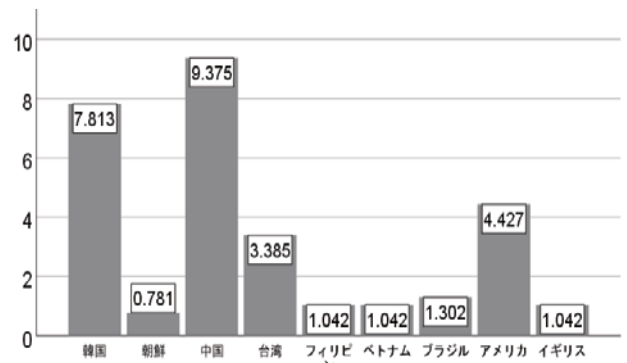
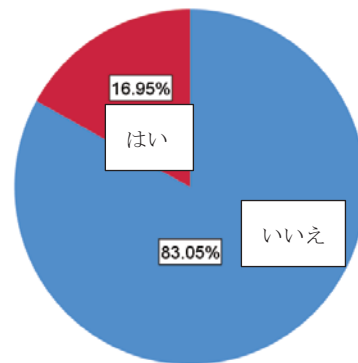
24. ひと月の収入

ひと月の収入は、平均 254,849 円で、15,000-2,000,000 円の差があった。

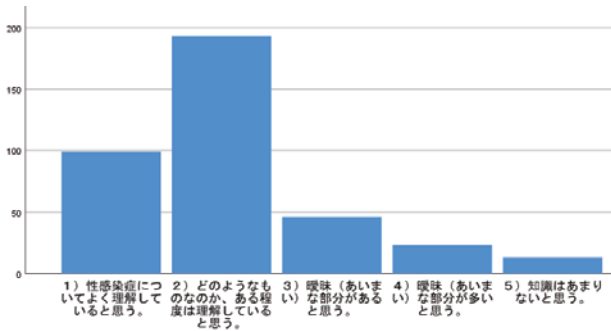


25. 外国人の客は増えているか

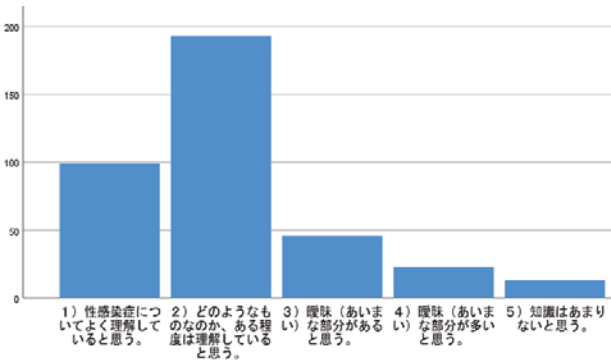
増えていると答えたのは 16.95%で、最も高い中国でも 9.4%であった。増えたのは 3 年前からが多かった。



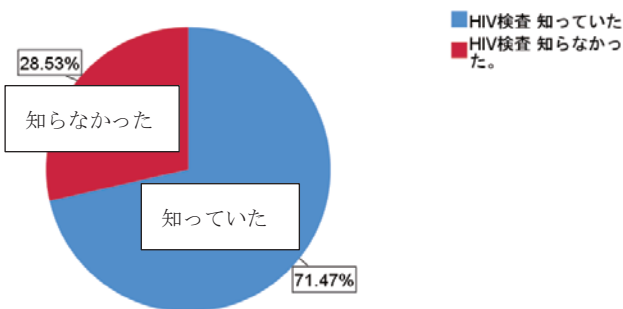
26. HIV・梅毒・クラミジア感染症などの性感染症についての知識はどれくらいお持ちですか。ご自身の感覚で結構です。



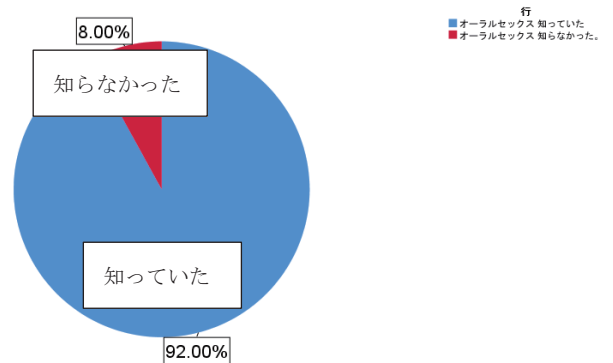
27. HIV・梅毒・クラミジア感染症などの性感染症についての知識はどれくらいお持ちですか。



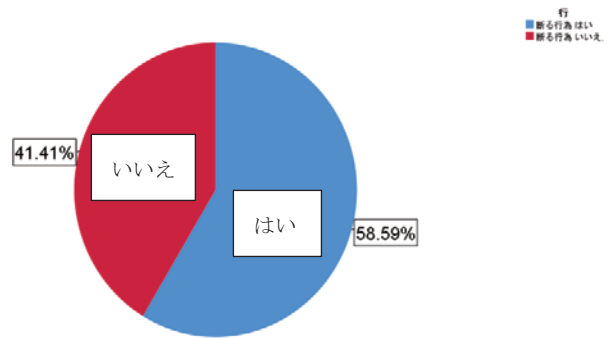
28. HIV 検査は、感染の可能性があった日から、2～3 か月たたないと正しい結果が出ないと知っていましたか。



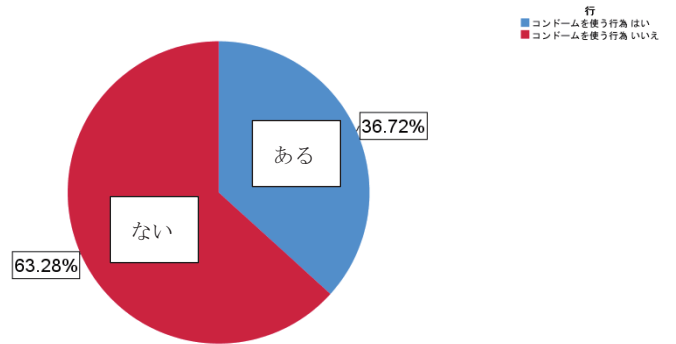
29. オールセックスの場合には、咽頭（のど）に感染する性感染症があると知っていましたか



30. 性感染症の予防のために断る行為をしていますか。

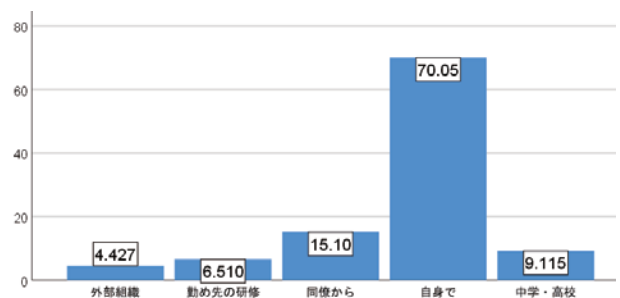


コンドームを使う行為をしていますか。



31. HIV・梅毒などの性感染症について、学ぶ機会がありますか。

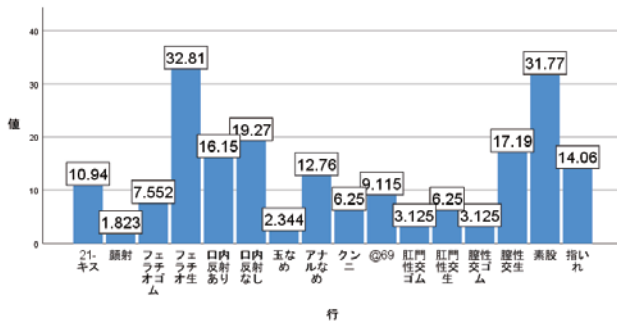
性感染症の知識は 70%が自分で学んでいました。





32. 工作中、断れず・防ぐことができず、性感染症の恐怖を感じた行為は何ですか。

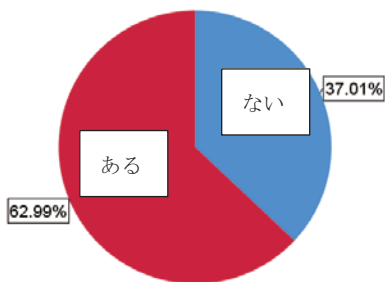
最も高いコンドームなしでのフェラチオで恐怖を感じているのは、32.8%ほどであった。



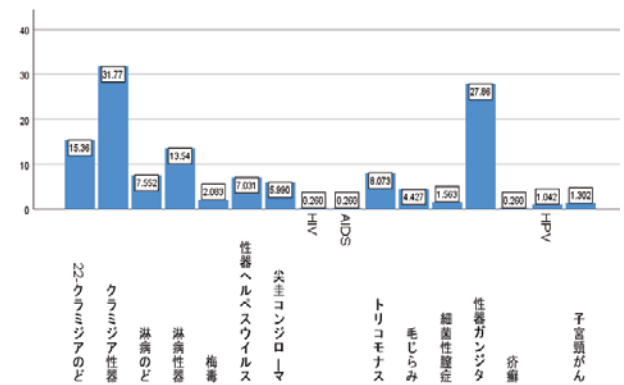
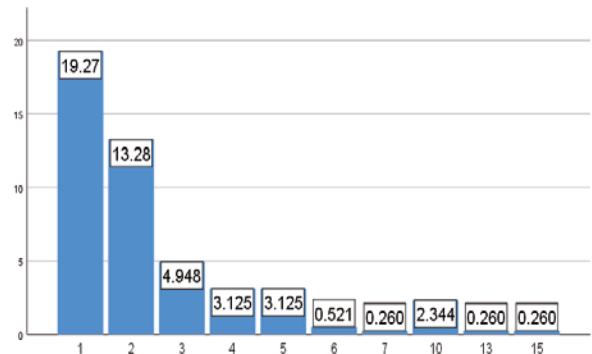
- ・ アナルファック
- ・ アナル指入れ
- ・ アナル責められた後に、あそこに同じ指で攻めてくること
- ・ いつだって心配はあります。
- ・ 基本的にプレイは全て危険性をはらんでいると思っている
- ・ 恐怖を感じたことは、ない
- ・ 口内発射時に置くまで突っ込まれて防ぎきれず、少し飲んだ時
- ・ 自分の体調・薬の飲みかたでカンジダになった事があります(かぜくすり)・・・

33. 今まで性感染症になったことがあるか。

性感染症は63%が経験があり、多い者では10回以上繰り返している。また、性器クラミジア感染症、カンジダ症などが多かった。



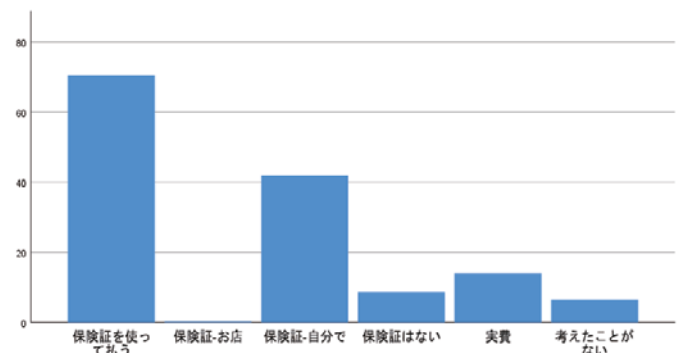
今まで性感染症になった回数



陰部伝染性,軟性下疳,A型肝炎,B型肝炎,赤痢アメーバ,伝染性短核症はなし

34. 性感染症になった際には、医者にかかる費用はどうなりますか。

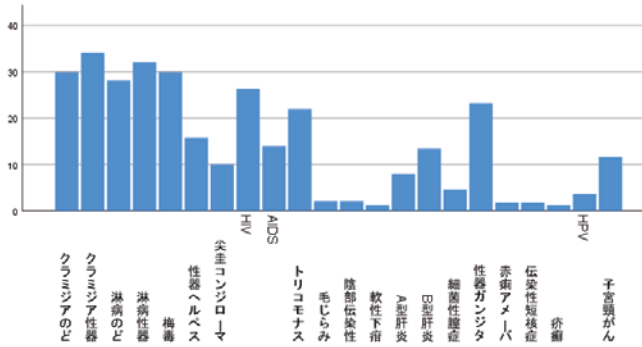
性感染症に感染した際は、保険証を使用して受診している



- ・ お店はグループでもそういうことは一切関与してはくれない
- ・ ダブルワークで勤め人の為、その保険証を使用
- ・ 会社勤めだった時、会社にバレないか不安になったことがある

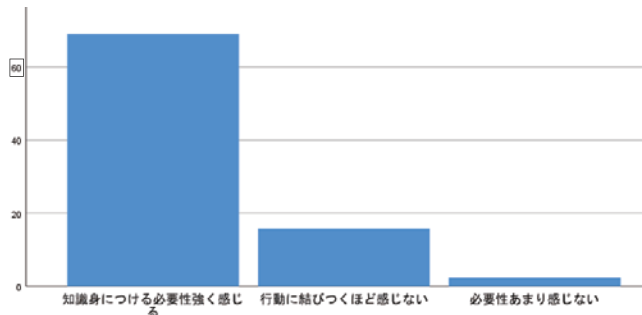
- ・ 最初から保険証取り扱わない病院へ行きます
- ・ 自費で検査受けたり、書籍、ネット情報で知識を得ています
- ・ 実費では払えないから、とても怖い
- ・ 働いていて感染したなら無償にしてほしい

35. 定期検査しているもの

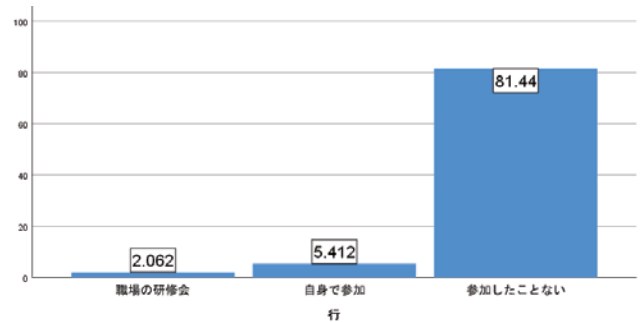


36. HIV・梅毒などの性感染症についての知識を身に付ける必要性は感じますか。

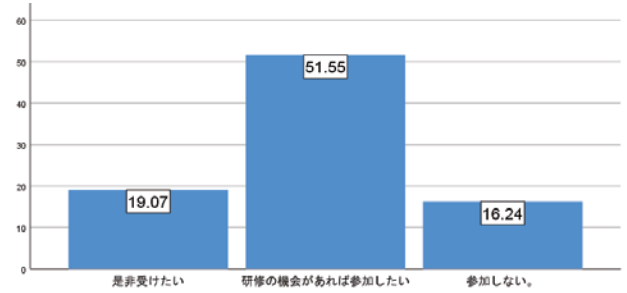
半数以上が、性感染症の知識を要望しており、研修会の経験がない。



性感染症予防の研修会などに参加していますか。

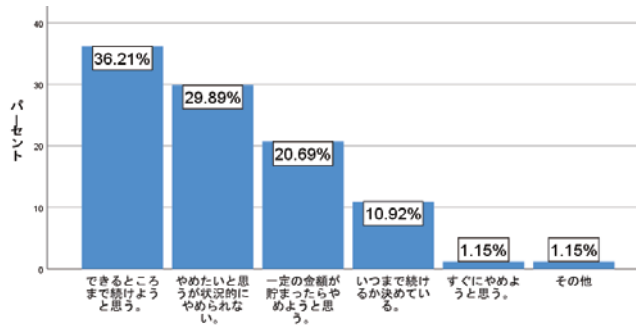


性感染症予防について、機会があれば研修を受けたいですか。

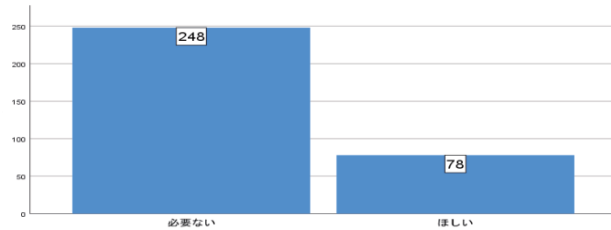


37. お仕事についての今後の予定をお教えてください。

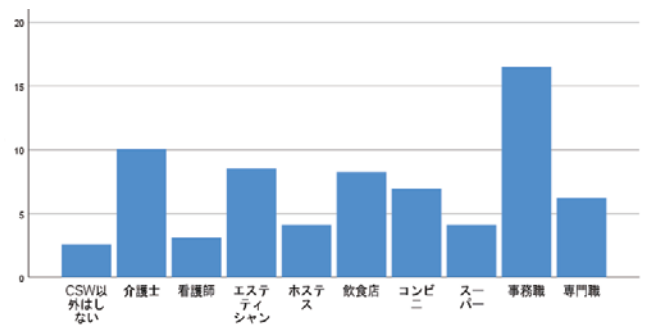
仕事の継続を望むものが最も高いが、63.9%が支援を希望している。



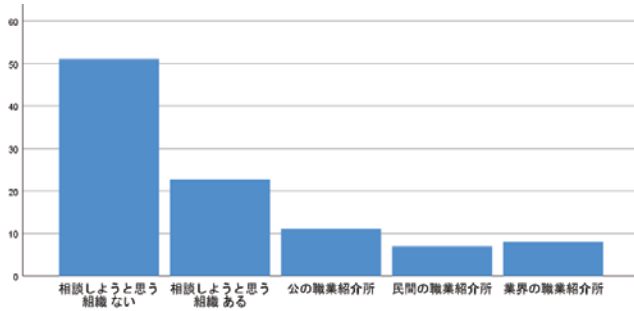
転職に向けた支援の希望はありますか。



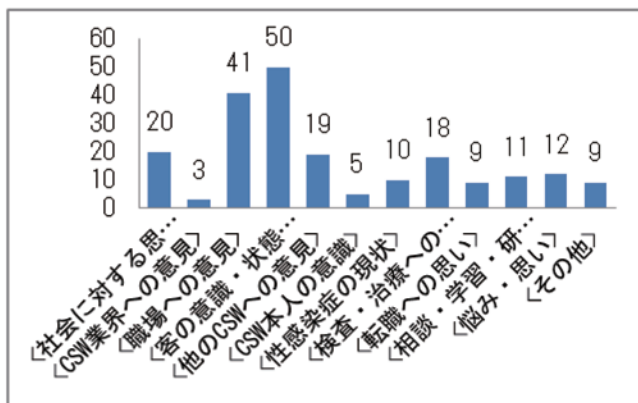
転職する際の希望職業



38. 転職する際に相談したい組織はありますか。



52. 自由回答 207 件



自由回答

<社会に対する思い・教育・制度>20 件

- ・ 社会全体で、また中学高校生のうちに教育として性感染症を学ぶべき。7 件
- ・ 社会保障の充実：
- ・ 検査・治療費用の助成、保険適用、健康診断に組み込む。7 件
- ・ 社会からの偏見がある：4 件
- ・ 社会人失格と思われる・性をタブー視している。
- ・ 梅毒を国をあげて一掃してほしい。
- ・ 浄化しすぎると裏に潜る。

<CSW 業界への意見>3 件

- ・ 検査の義務付け、業界全体で取り組みが必要。
- ・ 風俗を利用する男性側が感染を知らずにまたは、感染していることを隠して風俗を利用して知らない間にキャストの女性が感染

させられ、それを知らずに他のお客様を接客してしまうときもあり、いくら予防をしようと思っても感染拡大が激しいので何かいい方法はないものか？とても悩みます。

- ・ 自分個人だけの問題ではないと思います。しかし、業界全体がそれに関しての取り組みをしていないと思います。性風俗がちゃんとしたお仕事として認められるためにもしっかりとした仕組みが確立されることを希望します。

<職場への意見>41 件

- ・ 女の子と客への性感染症の教育をしてほしい。24 件
- ・ 検査の義務付け、検査治療代の負担をしてほしい。13 件
- ・ 性感染症予防のマニュアル作りをしてほしい。
- ・ 最近特に、サービスをハードにしないと、という傾向が強くなっている。
- ・ 生中だし、即尺、AF など過激サービスのお店が増えている。特に中出しは倫理的にどうなのか。
- ・ 行為の制限が不十分：
- ・ 書類には「本番は致しません」とサインしても暗黙のルールなのか本番（生、中出し）が当たり前のお店がデリヘルである。本番強要された際、お店には全て話していますが、お店側からしっかりと注意してほしい。

自由回答

<客の意識・状態への意見>50 件

- ・ 性感染症の意識が低い、学んでほしい。26 件
- ・ 性感染症に興味がなく、自分罹らない、自業自得と考えている。
- ・ 病気だと分かっているソープランドに遊びに来ている。
- ・ 「外に出すから生でやっていい？」とねだる。

- ・ 妊娠、病気のリスクをもう少し考えてほしい。
- ・ 検査をしてほしい。15 件
- ・ ルールを守らない、マナーが悪い。4 件
- ・ お客様で遊びが乱暴な人がいる。
- ・ 平気でアナル **SEX** をしようとしたり、レイプまがいなプレイをしようとする人が多い。
- ・ 私が見ていない間にコンドームを外す。
- ・ ヘルスで働いているのに、本番行為を求められる。何も言わず勝手に挿入しようとしてくる。最悪、無理矢理挿入しようとする。
- ・ <他の CSW への意見>19 件
- ・ 同業者でも性感染症について、あまり考えていない人多くて怖い。9 件
- ・ 自分が毎月受けていても他の人が受けているかわからないため怖い。検査をしてほしい。7 件
- ・ 経済的な理由により検査や治療をしていない。4 件
- ・ 友達は梅毒になったのに、治っていないのに経済的に厳しく仕事をしていた。
- ・ 性病検査がないことを理由に、病気になっているにもかかわらず、目先のお金欲しさに病気を隠し仕事している女の子がいるというウワサもよく聞く。
- ・ 女の子はみんな出稼ぎとかで新人ぬけたらまた違う場所に行ってソープみたいなことするんでしょ。でもやらせてくれるし OK な子多いからってという女の子が多すぎだから男もやめられないだろう。多分、お金で本番している子が多いんだと思う。ソープ歴もあるから思うけど、生中だし店がほとんどになってきてしまっているのは、性病が増加してるもどかと思う。

#### <CSW 本人の意識>5 件

- ・ 知識が乏しく意識が低い。5 件
- ・ ハードなサービスを求められる職業で、性

病のリスクはかなり高い割には、接客している女性もお客様も知識が乏しい。

- ・ 性感染症については知っている知識がたよっていたり、危険とわかっているけどオーラルセックスにゴムは使わなかったり、まだ「不安、キケン」と言いつつも現実味が自分の中にあるのかもしれない。危機感の中途半端さが一番こわいなあと感じます。
- ・ 検査をしたい。
- ・ 感染症はある程度は仕方がないものとは思っています。こまめに検査をして、もしかかっても広めないようにしたいです。

#### <性感染症の現状>10 件

- ・ 検査結果が怖い。リスクのある仕事。
- ・ 口内射精で伝染の多いと感じる。
- ・ 性感染症は見た目ではわからないため何度も感染している。
- ・ 性感染症になると、生活に支障が出るのが多々あるので、本当になりたくない経験してみた。

#### <検査・治療への意見・思い>18 件

- ・ 自分の体のためにも定期的に検査を受けるべきだと思う。8 件
- ・ もう少し料金が安くなるといいと思う。5 件
- ・ 土日でも検査できると助かる
- ・ 正職もあるので、わかってしまうと困るので、なかなか対応できない。
- ・ 市販の薬として薬局で入手できるようにしてほしい。

#### <転職への思い>9 件

- ・ やめるにやめられない。8 件
- ・ 風俗もやめたい気持ちはあるけど、昼職だけでは貯金できるほどの収入は得られないので、悩みます。
- ・ 激安店のため収入も低いのですが、一般的なパートからするとやはり金額が高いためソープでがんばっています。

- ・ 年齢で昼職もなかなか見つからない。親は介護状況でいったいどうすりゃいいんだ。
- ・ 学歴や手に職もない 50 歳過ぎた女が 1 人で生活できるほどの収入を得られる仕事、職場があるなら教えてほしい。
- ・ 将来は転職したい。
- ・ 子供たちに手がかからなくなったら、普通のお仕事をしたい。

#### <相談・学習・研修場所への意見>11 件

- ・ 知識を得たい。 9 件
- ・ 知識など、詳しく知る機会などがほぼないと思う。(個人任せ的な)。この業界のことを全く知らずにとびこんだので、セミナーなど受けることができたなら参加したいと思っています。職場や地域などで講習会が定期的にあるといいかと…
- ・ 自分一人では十分に学べない。
- ・ 自分の身を守るためにも知識をつけていくべきではないかと思いつつ、何から手を付

#### <その他>9 件

- ・ 性病の可能性は常に意識しています。そのリスクの大きさがすなわち”高給”を頂くことだと思っています。
- ・ かかりつけの医師と話をしているので問題なし。
- ・ イソジンの効果はあるか気になります。
- ・ 生でのフェラチオや素股は大丈夫なのかどうか。
- ・ この仕事をしなかったら、性感染症について知る機会も見る機会もなかったもので、より知識を深めることもできず、その結果興味をもつことも周囲に伝えることもなかったもので、知れてよかったと思います。

## D.考察

今回調査を行った対象者は、研究協力者が行った業務手技の講習会を受講する者が大半であったため、CSW の業務に前向きに学びを深めていきたい集団である。

ければいいかわからないことが多いです。

- ・ 性感染症の知識が、インターネットなどで見ていても正直わからないことが多いです。
- ・ <悩み・思い>12 件
- ・ 生活が厳しいから風俗で働いているのに、金銭面で稼げる人、稼げない人の差が大きく、お客様が払う金額も格安化が進んでいる。
- ・ 性感染症になったら、治るまで風俗ができないからその間の収入が心配。
- ・ この仕事は常に性感染症の危険と隣り合わせで不安はあります。
- ・ 性病になっている人の見分け方、症状がでていないとわからないので困る。
- ・ 性感染症になると病院に行くのにまず人目を気にしてなかなか行けない。
- ・ もっとインフルエンザとかみたいに身近に感じられる問題になるといいと思う。

57.14%は仕事を持っており、パート・アルバイト 21.4%に次ぐものは主婦 12.2%、常勤雇用 8.6%であり、W ワークをしている者が半数を超えていたが、勤務時間が平均 7.6 時間であることから健康を保つための休息の時間はあるのか、更なる分析が必要と思われる。

実際の性的実施サービスには、コンドームなしでの膣性交 2.6%・肛門性交 2.3%・フェラチオ 88.3%・口腔内への射精 25.0%、素股 84.4%等の行為を経験しており、性感染症の感染確率は高いと考えられる。

対象客の年齢層は 40-50 歳代が高く、梅毒等との関連もさらに分析していく必要がある。また、梅毒は外国人の客が増えたからという考えもあるが、今回の対象 CSW の中では、外国人が増えていると答えたのは 16.95%で、最も高い中国でも 9.4%であり、増えたのは 3 年前からと答える者が多かった。一概に外国人からの感染とは言えない結果であり、今後ますますの分析が必要である。

HIV 検査の検査可能期間、学ぶ機会の少なさからも性を扱う職業ではあるが、十分な知識があるとは考えにくい結果であった。コンドームなしでのフェラチオの経験は 88.3%であるが、性感染症の恐怖を感じている者は 32.8%である等、予防知識を持ち、自分を守る行動を持つことも重要であると思われる。自由回答で、客が検査を受けるべきとの意見もあり、CSW の予防・性感染症検査も重要であるが、性産業を利用するハイリスク層への性感染症検査普及、ポピュレーションアプローチとしての性感染症検査も大変重要なポイントと考えられる。

また、CSW の 63%が性感染症の経験があり、多い者では 10 回以上繰り返している。また、性器クラミジア感染症、カンジダ症などが多く、カンジダ症は一種の職業病の可能性もあると思われる。頻回な膣内洗浄や挿入物、性交・クニリングス等により、膣内 pH 値のバランスが崩れ発症している可能性も疑われる。

HIV・梅毒などの性感染症についての知識を半数以上が、要望しているが研修会の経験がないことも問題であり、今後、性感染症のわかりやすいパンフレットの作成や研修会の開催を検討していく。

また、自ら希望し職業を選択する CSW も多いが、子どもの生活費・学費のために CSW の職業を選んでいる者が多く、日本の社会情勢と今後の対策を考えるべきポイントともなると考えられる。仕事の継続を望む者もいるが、約 30%が辞めたい・支援が欲しいと希望している点での支援も重要と考える。

## E.結論

以上、CSW 調査について報告をまとめた。今後、法学部教授とともに法的根拠をさらに収集しており、今後の性感染症の実態と法律の矛盾点なども検討し、ハイリスクグループである CSW だけでなく、国民の予防対策はいかなるべきかを検討していく。

性を扱う職業として知識があると誤解されている場合もあるが、今後、性感染症のわかりやすいパンフレットの作成や研修会の開催等の教育の機会も重要であることが明らかになった。今後は引き続き、アプローチ方法も検討していきたい。

## F.健康危険情報

特になし

## G.研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 渡會睦子.性感染症の予防 中高年の性感染症の現状と予防, 日本臨牀 2019;77(2):358-364.
- 2) 渡會睦子. New York に学ぶ人身取引と性問題対策,性の健康 2018;17(1):23-24.

### 2.学会発表

- 1) 木南佳奈,白田佳菜,田口智之,渡會睦子,佐々木美奈子,氏原将奈,山本由加里,木村哲:大学生による性感染症予防教育における人材確保に関する検討,日本性感染症学会,2018.11.25.東京
- 2) 渡會睦子,空岡史子:家庭・教育・保健・医療等地域連携による福島県いわき市「いのちを育む教育」の推進,日本公衆衛生学会,2018.10.26.福島県郡山市
- 3) 山本美和,徳岡洋子,渡會睦子: 児童養護施設職員による性教育実践方法の検討,日本思春期学会.2017.8.27.宮崎県宮崎市

## H.知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む)

### ①特許取得

なし

### ②実用新案登録

なし

### ③その他

なし